

令和2年4月17日

「きふと、」参加検討自治体様へ

思いやり型返礼品プロジェクト「きふと、」について（ご案内）



前橋市・北上市・トラストバンクが連携し、自分のためでなく誰かのための返礼品＜思いやり型返礼品プロジェクト「きふと、」＞を立ち上げました。制度本来の主旨から離れて成長してきた「ふるさと納税」を、本来の社会貢献に着目して、地方の視点から「ふるさと納税×デザイン」(de=崩して、sign=構築)するプロジェクトです。社会貢献に繋がる返礼品を「思いやり型返礼品」とし、寄附のその先にある「繋がり」と「新しい価値の創造の取り組み」を、全国に広げていきます。

1 背景・目的

ふるさと納税制度は「生まれ育ったふるさとや応援したい自治体に、税（寄附）を通じて貢献する仕組み」として創設されました。しかし、メディアで取り上げられる「返礼品競争」の言葉が表すように、「地域の特産品がもらえる」「お得である」ということにフォーカスされ、寄附制度の主旨である「社会貢献」の色が薄まっています。地域を知ってもらうきっかけとなるため、返礼品から寄附先を選ぶことは決して悪いことではありません。しかし、選ぶことで誰かの手助けができる返礼品があるとしたら、選択肢の1つとして考えていただけるのではないのでしょうか。

寄附制度の本旨に立ち返った「返礼品を選ぶことでできる社会貢献」を、前橋市・北上市・トラストバンクが連携し、「ふるさとチョイス」を通して、全国の寄附者に提案いたします。また、このプロジェクトへの参加を全国の自治体に呼びかけ、返礼品だけで終わらない「寄附のその先きふと、」を創出し、ふるさと納税創設時の本旨の1つである「納税者と自治体がお互いの成長を高める新しい関係を築くこと」を目的としています。

2 「思いやり型返礼品」とは

「思いやり型返礼品」とは、寄附をすることで「自分のためでなく誰かのためになる」返礼品や、「社会貢献に繋がる」返礼品のことです。

この「思いやり型返礼品」は、H29年7月に前橋市（群馬県）が始めたもので、福祉作業所自主製品を返礼品とする「支援型」や施設等へ返礼品を寄贈する「寄贈型（あしなが型）」があります。

また、北上市（岩手県）では、「支援型」「寄贈型」に加えて、障がい者施設やコミュニティ活動団体等を資金面で支援をする「協賛型」をH30年11月にスタートさせました。それ以外に、お年寄りのために草刈りや雪国の除雪活動など、お困りの方々を支援する活動へ参加を呼び掛ける「参加型」があり、これら「支援型」「寄贈型（あしなが型）」、「協賛型」、「参加型」の4種の総称を「思いやり型返礼品」としています。

3 思いやり型返礼品プロジェクト「きふと、」とは



思いやり型返礼品を通して「寄附とその先」を形にするプロジェクトです。「寄附と、〇〇（その先にある繋がり・新しい価値の創造の取り組み）」をイメージしており、寄附だけで終わらない関係づくりを目指します。

本プロジェクトは、プロジェクトの主旨に賛同してくださる自治体を増やし、「思いやり型返礼品」を全国の自治体、そして寄附者に広げていくことを活動内容としています。「思いやり型返礼品」を通して、「ふるさと納税による社会貢献」という新しい価値を創造し、社会におけるふるさと納税の在り方に一石を投じることができればと考えています。

「きふと、」共同事務局は、本プロジェクト主旨に賛同し、思いやり型返礼品を返礼品として追加いただける自治体を随時募集しています。（平成31年度目標 100自治体、思いやり型返礼品への寄附総額100億円）

4 思いやり型返礼品プロジェクト「きふと、」参加要件

(1) 自治体要件

原則として、総務省が行う直近の調査結果において総務省通知を遵守していること。

(2) 返礼品要件

以下、アまたはイを満たすもの。また、ふるさとチョイスに掲載する返礼品については、ふるさとチョイスの掲載基準を満たしているものであること。

ア 自分のためではなく誰かのための返礼品であること（買い物~~の~~困難な親や知人など、困っている人の手助けをするものであること。お中元やお歳暮など、単なる贈答品を除く。）

イ 社会貢献に資するもの

5 「きふと、」参加メリット

参加自治体は以下の手段で、思いやり型返礼品の告知ができます。

ア ふるさとチョイス特設ページでの告知

イ 「きふと、」共通ロゴの使用

ウ 「きふと、」共通コンセプト等の使用

6 参加負担金

なし。ただし、本プロジェクトの展開により経費が発生する場合は、別途協議いたします。

7 参加方法

(1) ふるさとチョイスに、思いやり型返礼品としての登録を希望する返礼品をご登録ください。

その際、以下の2点の作業をお願いします。なお、アについては推奨とし、必須ではありません。

ア 返礼品名称（タイトル）に【思いやり型返礼品】を付ける。

例：D-17 前橋市内の施設への車いす寄贈（1台）【思いやり型返礼品】

イ 返礼品の詳細ページに、寄附される方にわかるよう、「思いやり型返礼品である理由」をご記載ください。

→CMSの「説明」の冒頭に下記を記載する。

「A. どの団体または個人」への「思いやり型返礼品（〇〇型）」になります。

「B. 何のために」充てられます。

例) <https://www.furusato-tax.jp/product/detail/03206/4483947>

「リレー・フォー・ライフきたかみ実行委員会」への「思いやり型返礼品（協賛型）」になります。北上市も共催している、がん征圧・患者支援チャリティ活動の運営費に充てられる NPO 支援の返礼品です。

なお、既出の返礼品要件を満たせば「思いやり型返礼品」として掲載可能ですが、事務局の承認過程において判断に悩むものがあつた場合、こちらの記載事項を参考にさせていただきます。

(2) 「きふと、」要件をご確認いただき、申込フォームからご登録をお願いします。

自治体情報のほか、登録希望返礼品の URL をご入力いただきますので、ご準備をお願いします。

(3) 「きふと、」事務局より、申込結果をご報告します。(所要期間 約1週間)

また、「きふと、」ロゴ等のデータをご送付いたします。なお、ご提供するデータは、ロゴ使用ガイドラインに則り、自治体のホームページや制作物上でお使いいただくことを想定しています。

(4) ふるさとチョイス上に自治体情報及び返礼品情報を掲載いたします。

ア 「きふと、」特集ページ上に、自治体情報を掲載（順次対応）

イ カテゴリ検索「思いやり型返礼品」で、検索結果として表示（4/1以降随時）

8 今後の展開

本プロジェクトに賛同しご寄附くださった寄附者への寄附結果報告を検討しています。こちらについても詳細が決まり次第お知らせいたしますが、思いやり型返礼品への寄附結果の集約等ご協力をいただく場合がありますので、ご承知おきください。

9 お問合せ先

「きふと、」共同事務局（株式会社フロムゼロ内）

担当：登内（とのうち）

TEL：0197-62-6770 E-mail：omoiyari@kitakami-choice.jp

営業時間 9：00～17：00 土日祭休

10 本プロジェクト発起団体

前橋市、北上市、(株)トラストバンク

※「思いやり型返礼品」を広める目的で、平成31年2月18日に連携協定を締結しました。

- 1 思いやり型返礼品プロジェクト「きふと、」共同事務局（担当：登内）
TEL／0197-62-6770 FAX／0197-62-6771
〒024-0011 岩手県北上市堤ヶ丘2丁目11番48号
株式会社フロムゼロ内
- 2 前橋市政策部未来の芽創造課 TEL／027-898-6641（直通）
- 3 北上市商工部産業雇用支援課 TEL／0197-72-8236（直通）